

JACET中国・四国支部 Newsletter

第 19 号

目次

1. 巻頭言	支部長 岩井 千秋	pp.1-2
2. 2017 年度春季支部研究大会報告	大会実行委員長 小山 尚史	p.3
3. 2017 年度支部第 1 回役員会報告	事務局幹事 三宅 美鈴	p.4
4. 2017 年度支部研究会 第 9 回 OPP イベントについて	OPP 代表 三熊 祥文	pp.4-5
5. 2017 年度秋季研究大会発表応募要領		p.5
6. 2017 年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』第 15 号投稿募集		p.6
7. 事務局だより		pp.6-7
編集後記		p.7
【重要】 ニュースレター (NL) 配信についてお願い		p.8

1. 巻頭言

中国・四国支部長 岩井 千秋

JACET 中国・四国支部の皆様、こんにちは。今年 6 月から支部長を仰せつかりました岩井千秋と申します。皆様へのご挨拶の前に、まずは支部会員を代表して、前支部長の松岡博信先生にお礼を申し上げたく思います。

松岡先生には 7 年の長きにわたって私たちの支部の活動をリードしていただきました。先生のご苦勞は単に年数だけのものではありません。この間に JACET では公益法人から一般社団法人へと、二度にわたる大きな制度改革が行われました。支部長の

任期は、現在は 2 年、2 期までと決まっていますが、この法人化のために人事を容易に動かせない事情があったと聞いています。当然ながら、会議や業務量は格段に増加。しかし、松岡先生には不満や愚痴を言われることもなく、私などにはとうてい真似できません。松岡先生、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

それでは改めまして、新米支部長としてご挨拶申し上げます。皆様、不慣れな支部長で、これからの 2 年間、色々なことでお手数をおかけしますが、どうかよろしくお願いたします。

のっけから昔話で失礼します。私と JACET の繋がりですが、恥ずかしながら、過去の記録を辿っても、いつ正式に会員になったのかどうもはっきりしません。本部発刊の紀要を調べたところ、1994 年の第 25 号は書架にあるので、これ以前であったことは間違いないようです。その当時、全国大会には何度か足を運んでいましたが、支部の活動については様子が分からず、初参加は約 10 年後の 2002 年、高知工科大学での大会でした。当時の支部長は沼野治郎先生。この大会で、支部紀要を発刊することが決まりました。つまり私の JACET 中国・四国支部とのご縁は、この紀要の号数と一緒にということになります。その後、支部長は西田正先生、松岡先生へと引き継がれました。歴代の支部長のような手腕を私は持ち合わせていないことを最初に白状し、これからの支部長業務は役員の先生方や会員の皆様におんぶに抱っこで支えていただきながら進めていければと思っています。皆様、どうかお見捨てにならないよう、伏してお願いたします。

話が変わりますが、支部長としての初仕事がこの巻頭言の執筆となりました。名言のひとつでも残せればいいのですが、そのような才覚は持ち合わせておらず、かなり重荷に感じています。そこで肩肘を張らず、ひとつだけ心しておきたいことを書くことにしました。これはどなたからのパクリですが（すみません、どなただったか思い出ません）、学会は「楽会」であってほしいと

いう願いです。

昨今の学校を取り巻く状況を皆様はどうお感じでしょうか。少子化の影響からでしょうか、教員数は減る一方なのに、仕事量は逆比例、職場からゆとりが消えつつありませんか。かつて大学間で先生方が集まってソフトボールに興じたようなことにはある種のノスタルジーです。学会でソフトボール大会というわけにはいきませんが、その集まりは職場の柵や多忙な日常業務から開放され、教育者・研究者の知的好奇心が満たされるコミュニケーションであるべきはずで、会費を払い、週末を潰して自主参加するわけですから、新たな知的発見があり、貴重な情報が入手でき、そして何よりも学術活動に必要な人的財産が得られなければいけません。私自身、恐る恐る前述の高知工科大学の大会に初参加したわけですが、その不安がすぐに吹っ飛んだことは申し上げるまでもありません。学会は会員の、会員による、会員のための楽しい集まりでなければいけません。私たちの支部が、何よりもそのように感じられる場であってほしいものです。

またまた話が変わりますが、一昨年から支部選出の理事を仰せつかって、理事会で東京に行くことが多くなりました。都市部では英会話学校と提携し英語教員の採用を控えるような大学が多くなる一方、そのしわ寄せが若く有能な人たちに行っていると聞きます。英語教育への AI の影響、2020 年に迫った入試改革、都市部と地方の大学の格差拡大、小中高大の学校間連携など、英語教育の難題は尽きません。でも、そのようなときだからこそ、私たちは横の繋がりを大切に、交流を深める必要があるのではないのでしょうか。皆様、何かと厳しい世の中になりつつありますが、先輩諸氏のご尽力によって築かれてきた JACET 中国・四国支部の「楽会」の輪を一緒に広めて行こうではありませんか。まずは 10 月 21 日（土）の秋季研究大会（香川大学）で多くの皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。

（広島市立大学）

2. 2017年度春季研究大会報告

大会実行委員長 小山 尚史

2017年度の大学英語教育学会（JACET）中国・四国支部春季研究大会は、平成29年6月3日（土）に、岡山大学教育学部を会場として開催されました。参加者は30数名でした。

研究発表は8件あり、発表は2教室に分かれて行われました。第1室では、前半司会：折本素先生のもと、1) 高大接続・英語4技能評価の時代に向け地域公立高校の可能性と課題－英語コミュニケーションテストOPIc適用結果を通じての考察－（八木智裕氏）、2) 「観光英語」の課外授業の開発とその実践（中山晃先生、寺島健史先生、川畑由美子先生）の発表が行われました。その後、後半司会：池野修先生のもと、3) 高等学校英語教科書の改訂による英文法例文の変化に関する研究－新JACET8000・CEFR・J Wordlist Ver.3.1を用いて－（中住幸治先生）、4) 海事英語の漫画教材の開発とそのCLIL授業での実践（二五義博先生）の発表が行われました。また、第2室では、前半司会：上西幸治先生のもと、1) 英語学習者による前置詞“by”のエラーに関する言語学的予備調査（西谷工平先生、中崎崇先生）、2) 英語の発音や語彙の教え方に関して役立つヒントについて（田淵博文先生）の発表が行われました。その後、後半司会：高橋俊章先生のもと、3) Nathaniel Hawthorneの*Young Goodman Brown*におけるプロットの展開とその文体論的特徴（藤居真路先生）、4) 日本人学生のメタ認知読解方略使用と英文読解力の関係（Magee Glenn Amon先生）の発表が行われました。

全体として、第二言語習得の諸分野、実践的プロジェクト、英語教科書や教材、または文学・文体論に関する研究など内容は様々で、多岐に渡っていました。

休憩を挟んだ後、司会：田淵博文先生より、講師の豊田昌倫先生（京都大学名誉教授）の紹介が行われ、「会話の英語－学び方と教え方」と題して講演が行われました。会話とは？という問題提起に始まり、会話の観察として、CDを聞きながら、配布されたスクリプト等を参照し、話されるスピードの速い旧情報と、それが遅い新情報等について説明が行われました。次に会話の分析として、言いよどみ、談話標識等について説明がなされ、その後、表現へと進む3段階について話されました。会話の英語について、日本人英語教師として学ぶとともに教えるべきであるとの趣旨で、教師は学習者を励ます役割を担っているとの勧めにより、一同鼓舞され、感謝の拍手が送られました。

春季研究大会は参加者人数の点で、やや小規模となったものの、休憩室ではアルクおよび桐原書店から出展して頂くことができ、また懇親会へは、約20人もの参加があり、様々に有意義なやりとりが交わされていました。今回、多忙な中、研究大会を共に支えていただきました研究発表者、司会をして頂いた先生方、参加者の皆さま、事務局の方々のご努力に深くお礼を申し上げます。

（岡山大学）

3. 2017年度JACET中国・四国支部

第1回役員会報告

事務局幹事 三宅 美鈴

2017年6月3日(土)に2017年度第1回支部役員会が開催され、2016年度事業報告、2017年度事業計画(案)、予算(案)および人事(案)について話し合いが行われました。2017年度(後期)および2018年度事業計画について、お知らせいたします。

1) 2017年度秋季研究大会

日程：2017年10月21日(土)

場所：香川大学

(香川県高松市幸町1番1号)

2) 2017年度 Oral Presentation & Performance (OPP) Event

日程：2017年12月17日(日) 予定

場所：県立広島大学広島キャンパス

3) 2018年度春季研究大会

日程：2018年6月2日(土)

場所：広島市立大学

4) 2018年度秋季研究大会

日程：2018年10月20日(土)

場所：松山大学

5) 2018年 OPP Event

日程：12月中旬

場所：未定

6) 支部紀要・支部ニューズレター

・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』
(第15号)

発行：2018年3月31日(予定)

・支部ニューズレター

発行：2017年7月30日(第19号)、2018年1月10日(第20号)(予定)

4. 2017年度支部研究会 OPP イベントについて

OPP 代表 三熊 祥文

この度 Oral Presentation & Performance (OPP)の代表を岩井先生から引き継ぐことになりました。広島工業大学の三熊です。よろしくお願いたします。私が OPP に参加したのが 2010 年の第 2 回大会でした。それから数えて 8 回参加してきたわけですが、前任の岩井先生の Organizational Quality には改めて“hat off”の意を表明すると同時に、今年からの落差の激しさを懸念する次第です。

英語教育はメソッド、アプローチ、テクニク、アクティビティのレベルで様々な

議論が可能であり、実際なされてきました。私たち OPP 研究会員は少なくともテクニク、アクティビティレベルの多様性は「祭り」を介して収束していくと考えています。言い換えれば、どのような活動であろうとも、それが「祭りの準備」となっている限り有効なのです。「祭り」は「非日常」を参加者が意識する実践共同体において、「短・中期的ゴール設定」のもと特定の技芸の披露の応酬を期待される活動を立案、実行してゆく中で学習者がコミュニティーの成員として成長していく「コミュニティーの発

展的再生産」と定義可能ですが、OPP はまさにそのような要件を満たす実践共同体です。それは学習者にとっても教員にとっても同じことです。

今年も上記の信念を embrace し、以下の次第で第 9 回大会として開催の旨、ご案内いたします。8 月末まで申し込みを受け付けますので、ご関心のある会員の皆様には奮ってご応募ください。

募集期間 8 月 31 日(木)まで。
開催日時 2017 年 12 月 17 日(日)
10 時~15 時頃まで
開催場所 県立広島大学広島キャンパス大講義室

募集条件

1. JACET 支部会員であればどなたでもエントリー可。
2. 先生方が指導されている学生さんによるプレゼン。
 - ・各大学の発表時間は最長 20 分まで
 - ・テーマ、発表形式は自由
 - ・先生の発表ご参加も歓迎
3. 受付は先着順で、8 校程度まで。
4. 申込みはメールにて代表者へ。
y.mikuma.ir@cc.it-hiroshima-ac.jp

他大学の先生方や学生さんとの貴重な交流の場でもあります。ぜひお気軽に参加ください。

(広島工業大学)

5. 2017 年度秋季研究大会発表募集要領

2017 年 10 月 21 日(土)に 2017 年度秋季研究大会が開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。

支部秋季研究大会

日時：2017 年 10 月 21 日(土)
場所：香川大学
(香川県高松市幸町 1 番 1 号)

A) 応募情報(英語での併記もお願い致します)

- a. 発表題目 (Title)：日本語と英語
- b. 種別 (Style)：自由研究発表、実践報告、事例研究など
- c. 氏名 (Name)
- d. 研究領域 (Research Area)
- e. 概要 (Abstract)：目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献など。日本語の場合は 600 字以内、英語の場合は 250 words 以内とする。

f. 所属 (Affiliation)

g. 使用機器 (Equipment Needed)

h. 連絡先 (Contact Address)：メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2017 年 9 月 30 日 (土)
午後 11 時 59 分まで

■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用ください(発表、および懇親会への参加申込ができます)。

研究発表及び参加申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S5242209/>

(7 月 30 日~9 月 30 日まで申込み可能)

懇親会申込みフォーム

<https://ws.formzu.net/fgen/S93573266/>

(10 月 1 日~12 日まで申込み可能)

C) プログラムおよび発表スケジュール
詳細は支部会員 ML、および支部 HP でお知らせします。(支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください)。

■問い合わせ先
事務局幹事 三宅 美鈴
m-miyake@it.hirokou-u.ac.jp

6. 2017年度『JACET中国・四国支部研究紀要』第15号

投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究成果を発表する場として、年一回3月に支部紀要を刊行しています。

応募資格は、所定の学会費を完納した支部会員とします。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された全国大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご応募ください。

なお、発行までの日程は原則として下記のとおりです。

- 論文投稿申込締切り：9月末
- 投稿原稿締め切り：10月末
- 審査結果通知：12月末
- 修正原稿締め切り：1月末
- 刊行：3月末

投稿先：支部HP フォームズから
仮題目提出

<https://ws.formzu.net/fgen/S19653863/>
投稿原稿

<https://ws.formzu.net/fgen/S76635936/>

お問い合わせ：紀要編集委員会委員長
平本哲嗣(安田女子大学)

E-mail: hiramoto@yasuda-u.ac.jp

7. ～事務局だより～

2017年4月から2017年7月までの新入会員5名をご紹介します。

★新入会員紹介★

谷本 公重 (香川大学)
河村 和也 (県立広島大学)

岡田 紗希 (安田女子大学大学院生)
Townsend, Jana (広島修道大学)
James, Daniel (広島修道大学)
Hoy, Keith (広島修道大学)
Kobayashi, Dawn (尾道市立大学)

(敬称略)

皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

2017年度の支部人事および本部運営委員をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしく願いいたします。

★支部人事案★

【支部役員】

支部長 岩井千秋 (広島市立大学)
副支部長 高橋俊章 (山口大学)

支部幹事 (*は事務局幹事)

*三宅美鈴 (広島国際大学)
岩中貴裕 (山口学芸大学)

支部会計担当者
堀部秀雄 (広島工業大学)

支部研究企画委員 (24名)

五百蔵高浩 (高知県立大学)
池野 修 (愛媛大学)
岩中貴裕 (山口学芸大学)
上西幸治 (広島大学)
折本素 (愛媛大学)
小山尚史 (岡山大学)
高垣俊之 (尾道市立大学)
高橋俊章 (山口大学)
瀧由紀子 (松山大学)
田辺尚子 (安田女子大学)
田淵博文 (就実大学)
寺嶋健史 (松山大学)
中住幸治 (香川大学)
中山晃 (愛媛大学)
二五義博 (海上保安大学校)
西田 正 (2018年3月まで) (福山大学)
平本哲嗣 (安田女子大学)
堀部秀雄 (広島工業大学)

【編集後記】

梅雨も終わり夏本番。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今年の梅雨では、九州を始め東北などの各地で大雨被害を受けました。この場を借りてお見

松岡博信 (安田女子大学)
三熊祥文 (広島工業大学)
三宅美鈴 (広島国際大学)
山川健一 (安田女子大学)
山中英理子 (広島国際大学)
ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

理事 岩井千秋 (広島市立大学)
高橋俊章 (山口大学)

総務委員会 (支部事務局幹事)
三宅美鈴 (広島国際大学)

財務委員会 (支部会計担当者)
堀部秀雄 (広島工業大学)

国際大会組織委員会本部
山川健一 (安田女子大学)

『JACET 通信』委員会
松岡博信 (安田女子大学)

学術出版委員会紀要担当
平本哲嗣 (安田女子大学)

セミナー事業委員会 サマーセミナー担当
田淵博文 (就実大学)

研究促進委員会
岩井千秋 (広島市立大学)

国際交流委員
堀部秀雄 (広島工業大学)

大学英語教育学会賞運営委員会
池野 修 (愛媛大学)

★支部紀要・ニューズレター発行予定★

- 『支部紀要』第15号
2017年3月31日刊行 (予定)
- 『大学英語教育学会中国・四国支部ニューズレター』
2017年7月30日 (第19号) 発行
2018年1月10日 (第20号) 発行 (予定)

舞い申し上げます。

今年の春季研究大会は岡山大学で開催されました。すばらしい研究発表と忌憚のない意見が交わされ中国・四国支部ならではのアットホームな雰囲気の中に大会が終

了いたしました。会場でお世話いただいた先生がたには、心より感謝申し上げます。

秋季研究大会は香川大学で開催されます。四国のいつもの団結力の強さだけでなく、会員の皆様の参加によって、より盛会なものにしたいと思います。10月21日をお忘れなくご参加のほど、よろしく願いいたします。

(M.M)



【重要】 JACET(大学英語教育学会)

中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長 岩井 千秋(広島市立大学)

中国・四国支部では、支部会員の皆様により迅速な情報提供を図るべく、2014年度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 支部 HP
(<http://jacet.edu.yamaguchi-u.ac.jp>) にアクセスする。

2. 入力フォームのサイトのページ
(<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>) に入る。

3. ウェブの入力フォームに下記の情報を

入力する。

・支部のメーリングリストに登録を希望しますか？

すでに登録している

希望する

希望しない

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

・登録を希望するメールアドレス

※ニューズレターはメール送信とともに、支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の三宅 (m-miyake@it.hirokoku-u.ac.jp) までお問い合わせください。

メールアドレスが変更された方は、

事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国 Newsletter 第19号

2017年7月30日 発行

発行人 : JACET 中国・四国支部(支部代表 岩井 千秋)

編集 : JACET 中国・四国支部 三宅 美鈴

発行所 : 〒739-2695 東広島市黒瀬学園台 555-36 広島国際大学 保健医療学部医療技術学科

三宅 美鈴

連絡先 : Tel:0823-70-4563 FAX:0823-70-4544 E-mail: m-miyake@it.hirokoku-u.ac.jp